

令和元年度学校自己評価システムシート（熊谷市立吉岡中学校）

目指す学校像	確かな学力を身に付け　心豊かなたくましい生徒の育成
--------	---------------------------

重　点　目　標	1　よく学ぶ生徒の育成 2　心豊かな生徒の育成 3　健康でたくましい生徒の育成
---------	---

達成度	A	ほぼ達成（8割以上）
	B	概ね達成（6割以上）
	C	変化の兆し（4割以上）
	D	不十分（4割未満）

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者 生徒 事務局(教職員)	名 名 名
-----	-------------------------	-------------

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。
※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標					年 度 評 価（　　月　　日 現在）		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	熊谷市の教育施策である学力日本一を目指すため、基礎基本の定着・授業力の向上・言語活動の充実が課題である。全国学力学習状況調査では、県平均以上であるが、市内では中盤である。	1　基礎・基本の徹底 2　授業規律の徹底 3　ねらいを明確にした授業の実践 4　言語活動の充実 5　くまがやラグビー・オリパラプロジェクトの推進	・吉岡検定の実施 ・ラウンドシステムの考え方 ・学習習慣の確立 ・くまなびスクール実施 ・学習規律「よしおか」の実施 ・授業開始時刻の厳守 ・毎時間のねらいの提示 ・導入・発問・学習形態の工夫 ・少人数指導の実施 ・主体的・対話的で深い学び ・生徒の活動時間を増やす。 ・教科横断的内容の視点	・各学年100%の達成 ・全学年・全教科で実践 ・家庭との連携 ・参加者の出席率80%以上 ・全教科で実施 ・チャイムであいさつ100% ・提示率100% ・生徒満足度80%以上 ・実施率80%以上 ・学校研究課題として実施 ・各教科70%の実施 ・各教科で教科間の関連づけた視点を見つける（各教科年間5つの分野を発見）			
2	1つの小学校から進学してくるため友人関係が固定化するとともに、コミュニケーションの能力が低く細かなトラブルが多い。幅広い教育により、人間関係を充実させる必要がある。	1　時を守り、場を清め、礼を正す 2　命の教育・心の教育の推進 3　スキル教育の充実 4　いじめ撲滅運動の展開 5　インクルーシブ教育の推進	・集会時の無言整列 ・無言清掃 ・道徳的価値を深める授業実践 ・人権旬間の実施 ・コミュニケーション能力の向上 ・元気なあいさつと返事 ・きめ細やかな日常観察と教育相談の実施 ・定期的なアンケートの実施 ・交流学級・共同学習の実施	・100%の実施 ・80%の実施 ・各学年3回の実施 ・道徳実施35時間以上 ・年2回の実施 ・100%の実施 ・教育相談年2回実施 ・月1回の実施 ・保護者の要望に添えるよう面談を実施(年3回)			
3	昨年は、埼玉県体力向上優良校表彰の機会を失うなど、基礎的な体力が次第に下降している。また、寝る時間や起きる時間が遅く、基本的生活習慣が十分に身につけていない生徒も見られる。体力のさらなる向上を目指していきたい。	1　くまがやラグビー・オリパラプロジェクトによる体力向上の推進 2　健康教育と食育の充実 3　主体的な部活動への取組 4　安全行動の習慣化と事故防止の徹底 5　地震・竜巻等の自然災害や不審者対策	・課題をふまえた授業の実施 ・「汗をかく授業」の取組 ・生活習慣の改善 ・家族と一緒に朝ご飯の奨励 ・目標設定と計画的な取組 ・自らの命は自ら守る意識 ・緊急地震速報の活用 ・対応マニュアルの整備	・新体力テスト総合評価95%以上（A＋B＋C） ・100%の実施 ・HQCシート年2回実施と公開 ・朝ご飯摂取率 98%以上 ・計画表のホームページへの掲載(ガイドライン遵守) ・避難訓練の迅速な行動 ・生徒の交通事故0 ・小中合同避難訓練（引き渡し訓練）実施　年1回(秋実施)			

学 校 関 係 者 評 価
実 施 日 平成　　年　　月　　日
学校関係者からの意見・要望・評価等